

## 齋宮跡の発掘

齋宮跡は国が定めた史跡で、東西2km、南北700mにわたる137haがその範囲として指定されています。昭和45年(1970)から本格的に開始された調査は、現在も継続して行われています。史跡の東部では、平安時代はじめの東西7区画、南北4区画の碁盤目上の整然とした区画が確認された他、斎王が生活した内院の調査も進み、おもな出土品は重要文化財に指定されています。



齋宮跡第119次調査(人の立っている所が建物の柱跡)

## 史跡内の主な施設

近鉄齋宮駅の北側には、齋宮が最も栄えた平安時代の様子を偲ぶことができる施設があります。

齋宮駅を降りてすぐの所には、貴族の邸宅(寝殿造)を模した伝統的工法による木造建築の施設、いつきのみや歴史体験館があり、平安時代の生活を体験することができます。

また、史跡齋宮跡を1/10に縮小した模型などを設置した齋宮跡歴史口マン広場があります。

齋宮駅の北東には、重要な儀式などを行った3棟の復元建物を含む、齋宮の中心的部分を整備した史跡公園「さいくう平安の杜」が平成27年(2015)秋にオープンしました。



「さいくう平安の杜」内の復元建物  
写真左から西脇殿、正殿、東脇殿。  
正殿は、儀式などを行うシンボリックな建物



1/10史跡全体模型  
後方の建物は、いつきのみや歴史体験館

博物館外観



## 利用案内

| ■観覧料  |      | 令和元年10月1日改正 |
|-------|------|-------------|
|       | 個人   | 団体(20名以上)   |
| 一般    | 340円 | 270円        |
| 大学生   | 230円 | 180円        |
| 高校生以下 | 無料   | 無料          |

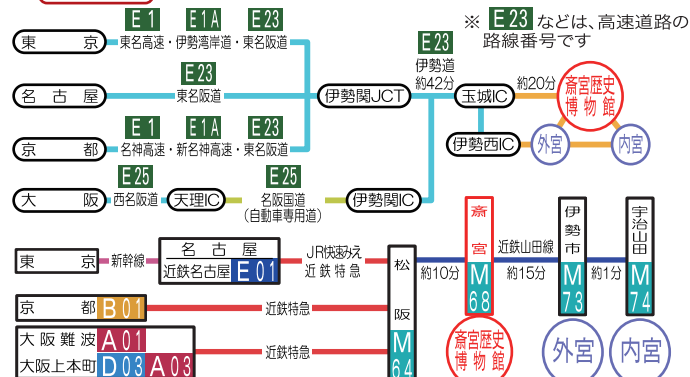
- 次の方は、観覧料の免除をお受けいただけます。  
○三重県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童及び生徒の引率者(但し、教育課程に基づく教育活動として、事前申請が必要です)  
○身心に障害をお持ちの方とその介助者(1名)  
○三重県内の児童福祉施設(児童福祉法第7条)に在籍されている児童および引率者
- 家庭の日(毎月第3日曜)は、個人の方も団体料金が適用されます。
- 企画展・特別展は、別途、観覧料が必要になります。

●開館時間 午前9時30分～午後5時(但し入館は午後4時30分まで)

●休館日 月曜日(祝日・休日である場合を除く)  
祝日・休日の翌日(土曜日・日曜日である場合を除く)  
年末・年始(12月29日～31日・1月1日～3日)

●交通案内 近鉄齋宮駅より徒歩約15分  
伊勢自動車道玉城ICより車で約20分  
松阪・伊勢市内より車で約30分

●駐車場 無料(乗用車200台駐車可)



※A01などは、近畿日本鉄道線内の駅番号です  
※京都からは、一部の列車を除き大和八木駅(B39・D39)で乗り換えです  
※近鉄の観光特急「しまかぜ」号は、松阪駅には停車しません  
■中部国際空港(セントレア)からは、津エアポートライン、三重交通路線バスを乗り継ぎ、津駅より近鉄線をご利用ください



齋宮歴史博物館 SAIKU HISTORICAL MUSEUM  
〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
TEL 0596-52-3800(代) FAX 0596-52-3724  
Home page : <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>  
Twitter : [https://twitter.com/mie\\_saikuhaku](https://twitter.com/mie_saikuhaku)  
E-mail : [saiku@pref.mie.lg.jp](mailto:saiku@pref.mie.lg.jp)

令01.10.改訂 臨改 令01.10.印刷

齋宮  
歴史博物館

上:齋王居室 下:祈る齋王

いつきのみや  
**斎宮** 鄙にはそぐわない  
 雅な名をもつこの地は  
 かつて伊勢の大神に仕えた  
 斎王がました所

斎宮とは、天皇が即位するたびに選ばれて伊勢神宮に仕えた斎王（いつきのひめみこ）の宮殿と、彼女に仕えた官人たちの役所である斎宮寮を指す言葉です。

斎王は、未婚の内親王や女王から占いで定められ、宮中の初斎院や野宮などで足掛け3年間の潔斎生活の後、斎宮へ旅立ちます。群行と呼ばれたこの旅は、平安時代には近江から鈴鹿の山々を越え伊勢国に至る5泊6日の旅でした。7世紀後半に天武天皇により定められたこの斎王制度は、およそ660年間続き、斎宮は9～10世紀にかけて隆盛を極めた後、14世紀の半ば、南北朝の動乱のうちに、その姿を消したのでした。



緑釉陶器 陰刻花文椀  
 【重要文化財】

展示室 I

「文字からわかる斎宮」をテーマにした展示室です。斎宮が最も栄えた平安時代を中心に、斎王の誕生から斎宮での暮らし、そして都に帰ってからの斎王のほか、『伊勢物語』や『源氏物語』などの古典文学に描かれた斎王についてを実物資料や模型、映像資料で紹介しています。

また、展示室入り口には、斎王が群行の際に乗った輿（葱華輦）の模型を、奥には原寸大の斎王の居室（十二単姿の斎王と命婦の人形や調度）を復元展示しています。



展示室 I

展示室 II

「ものからわかる斎宮」をテーマにした展示室です。飛鳥時代から鎌倉時代にいたる斎宮の代表的な出土遺物を中心に、発掘現場や平安時代の斎宮を復元した1/400模型などで、斎宮跡の発掘調査成果を紹介しています。

また、土器の編年当てクイズや土器復元パズルなどの参加型展示もあり、斎宮はもちろんのこと考古学をより身近に感じてもらえるような展示となっています。

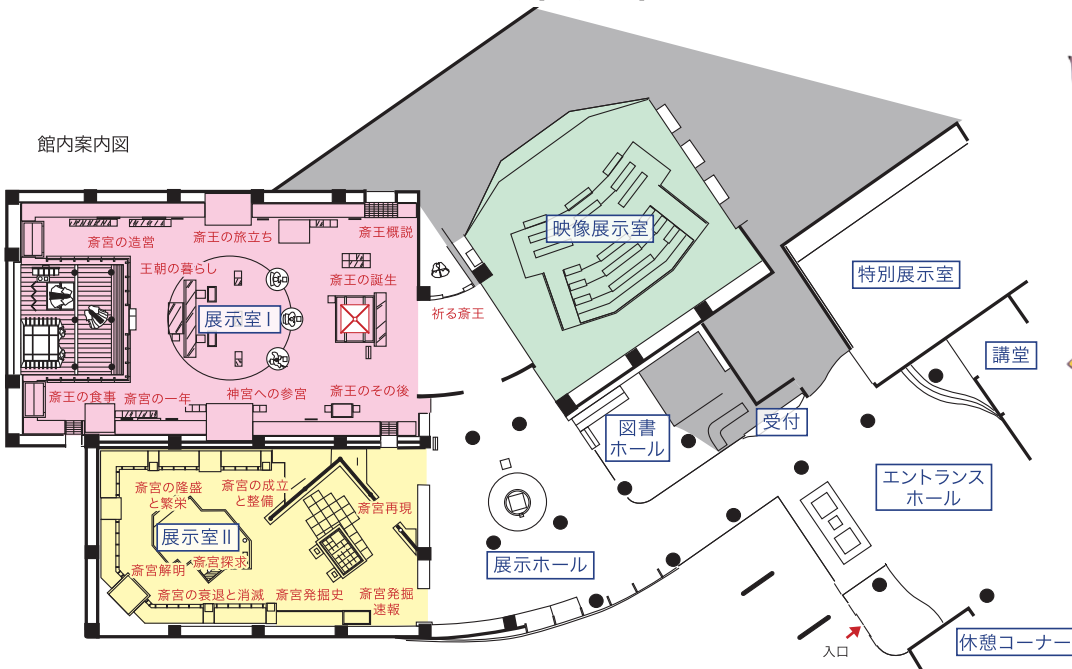


土器復元パズル



展示室 II

館内案内図



うき桂



鳥形・羊形碗  
 【重要文化財】

映像展示室

斎王の儀礼と都から伊勢への旅を再現した「斎王群行」と斎宮跡の発掘成果から平安時代の斎宮の様子を再現する「今よみがえる幻の宮」の二本の映像を上映しています。



映像展示室



「斎王群行」の一場面